

エネルギー白書から

シリーズ第二部 「3・11及びその前後から顕在化してきた課題」

column
04

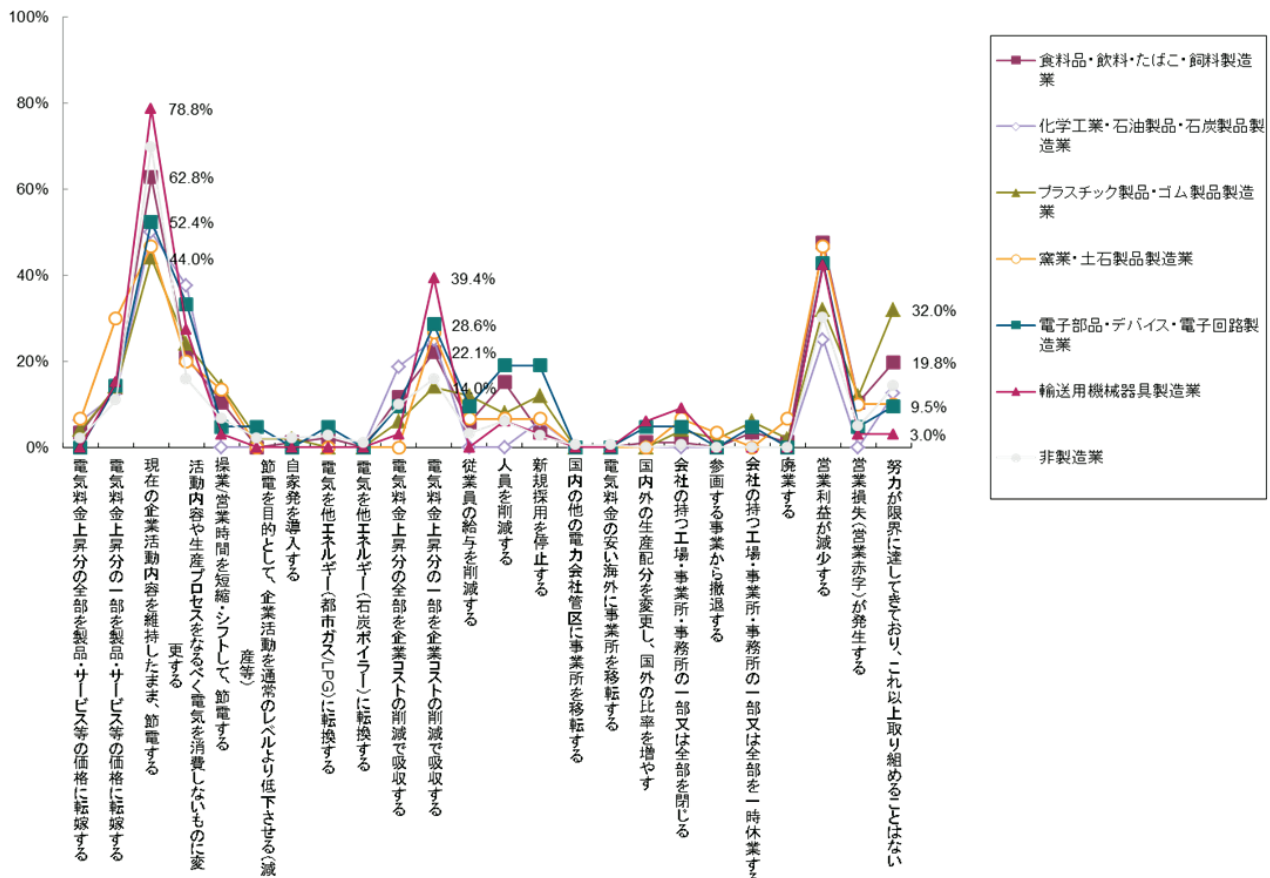
最終回：業種別に見た電力料金上昇の影響

電気料金値上げの影響回避のために取った行動の内容についてみると、業種によって違いがあることが分かります。

例えば、「現在の企業活動内容を維持したまま、節電する」「電気料金上昇分の一部を企業コストの削減で吸収する」と回答した企業は、輸送用機械器具製造業ではそれぞれ78.8%、39.4%であるのに対し、プラスチック製品・ゴム製品製造業では、それぞれ44.0%、14.0%となっています。

逆に、「努力が限界に達してきており、これ以上取り組めることはない」と回答した企業は、輸送用機械器具製造業では3.0%であるのに対し、プラスチック製品・ゴム製品製造業では32.0%となっています。

最近の電気料金値上げに対して、今後どのような対応をお考えですか。（企業規模別）



第一部・第二部およびコラムを含め「エネルギー白書から」シリーズをご紹介してまいりましたが、当シリーズは今回で最終回となります。長らくご高覧頂き有難うございました。